7－2　地震予知研究計画にもとづく地磁気永年変化精密観測，（1977年1月～1982年9月）

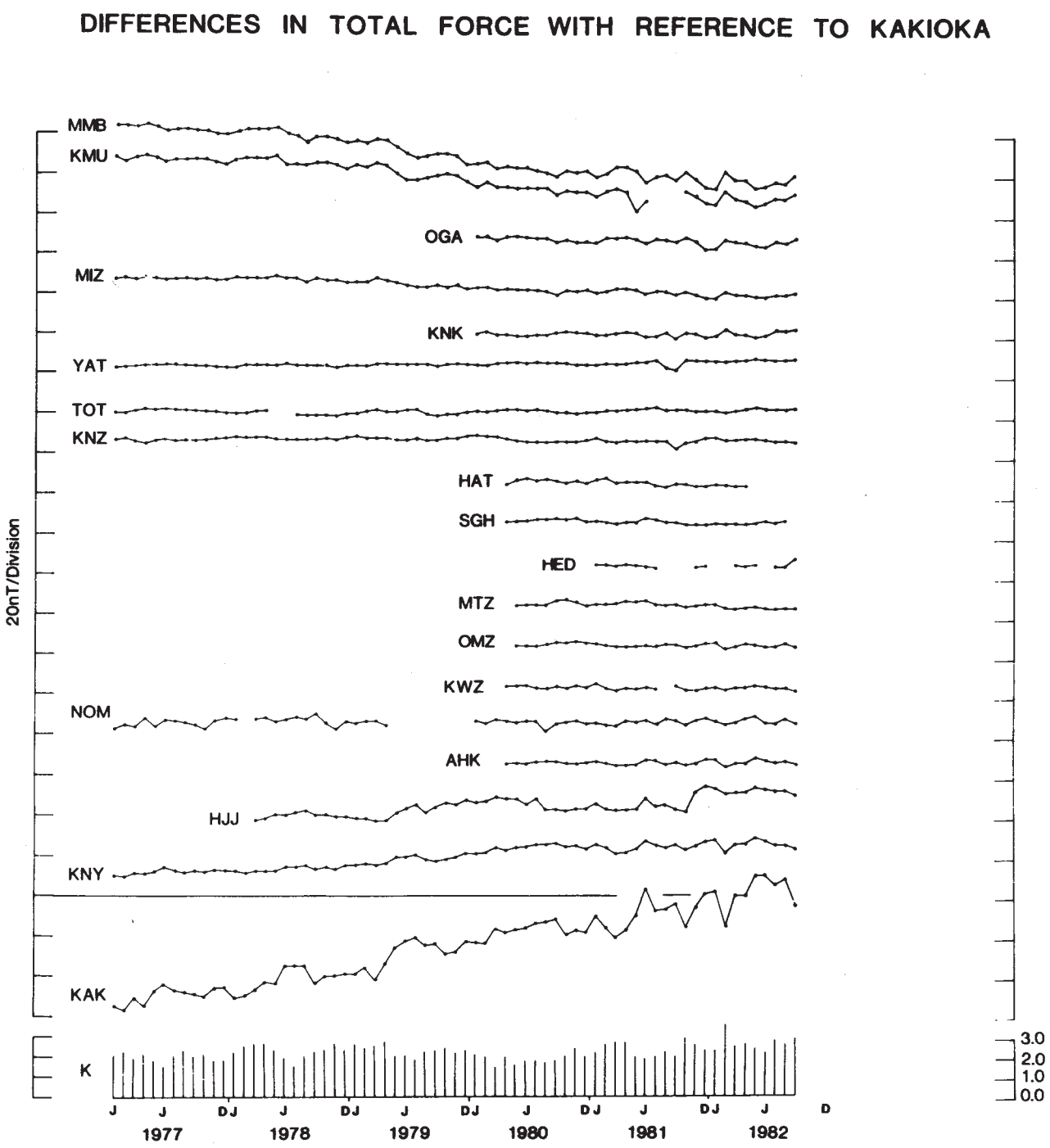
Precise Observation of Geomagnetic Secular Variation under the Project of Earthquake Prediction Research, January, 1977-September, 1982

地震予知研究計画・地磁気研究グループ
Geomagnetic Research Group on Earthquake Prediction

1977年1月から1982年9月までの期間における柿岡を基準とした地磁気永年変化観測点の全磁力夜間値差の経年変化を報告する。

第1図に各地点の全磁力差，柿岡の全磁力値，柿岡の該当時間帯のK指数のそれぞれの月平均値を示した。スケールは20nT/1目盛。なお使用データは，1980年3月以前は00時40分～01時20分の5個，1980年4月以降は00時40分～03時00分までの15個の毎10分値である。ただし，男鹿・金華山については全期間を通じて5個である。

最近の結果を概観したところでは，全体として顕著な異常はない。前回報告した1981年10月から11月にかけて八丈島に生じた変動はその後安定化した。ただし，1982年1月以降のレベルは，1981年9月以前のそれより約8nT高い。その他上杵臼1981年4月，八ケ岳1981年6月～9月の変化についてはこれまでの報告を参照されたい。



第 1 図　柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化，1977 年 1 月～ 1982 年 9 月

Fig. 1　Month-to-month change of the difference of nighttime total-force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from January, 1977 to September, 1982.